

## イベント・体験情報 ※詳細は、ホームページをチェックしてください。

### 山梨県立宝石美術専門学校 2015 年度卒業発表展

当館で、山梨県立宝石美術専門学校 2015 年度卒業発表展を開催します。同校の生徒が2年間学んだ知識・技術を活かし、新しい感覚でジュエリーを制作しています。今年のテーマは「ユニーク (UNIQUE)」。10年先の社会には「こんな夢のあるジュエリーが受け入れられるのではないか?」との仮説のもと、学生たちならではの感性でデザイン制作された作品の数々を是非ご覧ください。

日時：平成 28 年 3 月 12 日 (土)～28 日 (月)  
10:00～18:00 (最終入館は 17:30 まで)

場所：山梨ジュエリーミュージアム企画展示室



イメージ写真

### 体験プログラムに新しい宝石が加わります! (2月27日から)

当館で開催しております体験プログラムに「現代の名工」である依田和夫氏によって研磨されたローズクォーツのペンダントが加わります。数に限りがございますので、お早めにご参加ください。



イメージ写真

研磨ペンダント 2,000 円



依田和夫氏

#### 依田和夫

昭和 22 年生まれ。高校卒業後、宝石研磨職人であり父である依田金造氏に師事。山梨県ジュエリーマスター、現代の名工。山梨県立宝石美術専門学校非常勤講師。

### 開館時間変更のお知らせ

平成 28 年 4 月 1 日より開館時間が 10:00～17:30 (最終入館は、17:00 まで) となります。

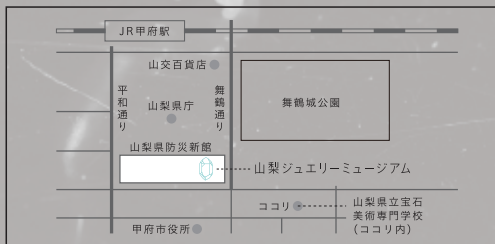
### 山梨ジュエリーミュージアム

開館時間：午前10時～午後6時(最終入館は、午後5時30分まで)  
休館日：火曜日(祝日の場合は、その翌日)、年末年始(12/26～1/1)  
：その他、臨時に開館・休館することがあります。

入館料 無料

駐車場：92台(山梨県防災新館地下有料駐車場、来館者は1時間無料)

〒400-0031 山梨県甲府市丸の内1-6-1 山梨県防災新館1階(山梨県庁内)  
<http://www.pref.yamanashi.jp/yjm/index.html>



Yamanashi  
Jewelry  
Museum

原型職人

小池 正三



craftsman jewelry

Vol.4

2016 年 1 月発行



# 「不屈の精神ありますか？」



ジュエリーの製作工程のひとつに、ロストワックスキャストイングと呼ばれる方法がある。金属あるいはワックス（ロウの一種）で製作したジュエリーの“原型”から型をとり、貴金属で鑄造するもので、立体的な装飾やテクスチャーが特徴的な製品に向いている。

小池はワックスによる原型製作を専門としており、リングに巻き付いた蛇の脈打つような迫真性や、キセルに施した龍の彫刻など細密な表現が印象的だ。実演工房で黙々と作業する姿は一見近寄りたがいが、話し出せばこの上なく明快で思索に富んだ人であることがわかる。

原型製作は手造りの場合ブロック状のワックスをヤスリで削るやり方が一般的だが、小池は終始ワックスペンだけでほぼ完成形に仕上げってしまう。ワックスペンは熱で溶け冷えると固まるワックスの性質を利用し、機械で温度調整したペン先で熱しながら形を盛り付けていくことができる。通常、ワックスペンは失敗した部分を修正する程度でほとんど使わない職人が多いというが、小池によれば、例えばバラの細かいツルなど繊細なイメージを形にする場合ワックスペンをういたほうが断然早いという。

## @26歳で人生が変わった

小池の人生に大きな転機が訪れたのは、26歳の時。事故が原因で左足の靭帯を切断し、勤めていた運送業からの転職を余儀なくされた。「家の中でできて、資格がいなくて、自分で努力すれば食べていける仕事を」全く興味の無かった業界に進もうと決めたのは、宝飾業を営む親戚から勧められたのがきっかけだった。



「昔から、何でもやれば好きになる自信があった」という小池は、30歳で一発発起し東京・御徒町で開業。販売の傍ら独学で仕事を覚えた。その後、結婚したのを機に山梨へ移住。42歳の時だった。「人生がまるで変わっちゃった。今の自分があるのは怪我のおかげだね。」

## @大事なものは、心と体の姿勢

一般向けワックス教室の講師も務める小池は、まず生徒達に「不屈の精神ありますか？」と聞くという。「この仕事は心と体の姿勢が出来ていなければ続かない」という思いからだ。体の軸がぶれていれば手も思い通りに動かない。そして、“必ずやり続ける”という強い気持ちが無ければ続けられない。「手で作られたものは、必ずその人の感性が表れる。人間は、体が衰えても経験を積み重ねることで感性だけは成長し続けるんです。そういった意味でこの仕事は、生涯の仕事にするにはすごくいいと思いますよ。」

宝飾加工の現場では機械化が進み、ジュエリー製作の全ての工程を一人でこなす職人は減少傾向にある。しかし「だからこそ手仕事の面白さを見出して、若い人が参加してくれるようになれば」と願っている。



## 原型職人 小池 正三 (貴金属工芸)

昭和26年神奈川県生まれ。東京・御徒町で技術習得後山梨県に移住し、昭和56年にカイジュリー設立。平成25年に「やまなしの名工」に選出。山梨県立宝石美術専門学校非常勤講師。

小池 正三 氏による実演及び体験指導 3月20日(日)

次回「伝統工芸士 斎藤本晴」2016年3月発行予定